

まこと通信

まこと通信は、「まこと」とご利用者様・ご家族様の情報共有のひとつとして発行しております。まことの提供サービスを紹介し、実施している内容に対して少しでもご理解とご協力をいただき、よりよい介護サービスの提供に努めて参ります。発行は毎月10日を予定しています。

安心した老後

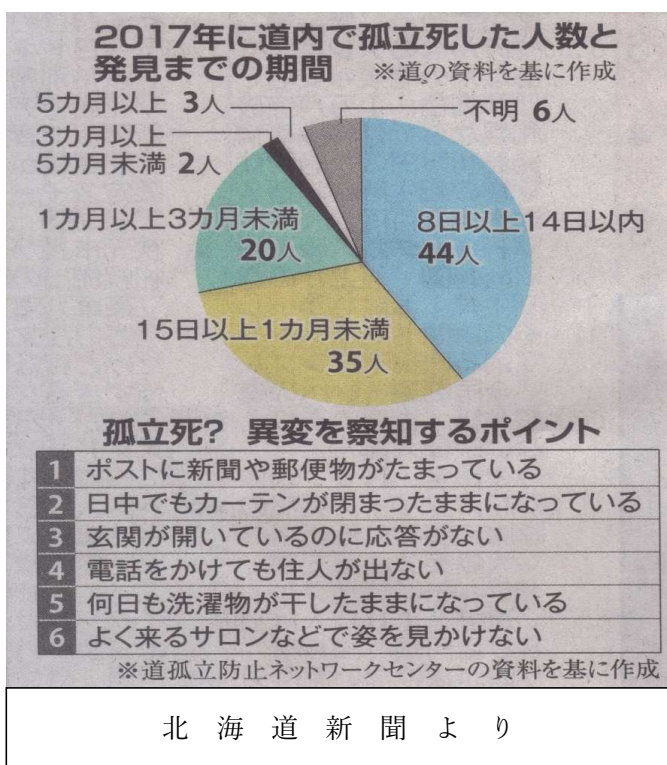
安心した老後とはなんだろう。よく、ご利用者様からは、「私達の老後の生活にいくらのお金が必要なのだろうか?」と質問を受けます。しかし、お金があれば安心なのだろうか?

北海道新聞によると2017年に死後1週間を超えて孤立した状態で発見された人は、110人に上ったとのことでした。内訳は、男性が77人、女性が33人。65歳以上が74人とのこと。お金があれば、安否確認を頼めるので問題ないとの意見もあるが、そういう問題ではないと思う。孤立死の異変に気づく人の一番は、近隣住人とのこと。発見が遅れる多くの方は近隣住人との関わりが少ない方が大半です。では、関わりとはどのようなことを指すのか?

毎日、生きていることを実感するのは、まずは、毎朝の太陽の日の光を感じたときだろう。つぎに、誰かと挨拶を交わしたときに一番感じるのではないかな?

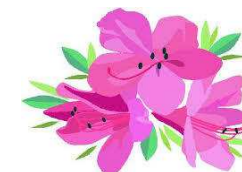
物質的な豊かさよりも、精神的な豊かさが人を幸せにすると私は信じています。私が担当した患者さんの中に、預貯金なし、年金も少ししかない、お金に関しては、まったく頓着なしという方がいました。そんな方が、脳卒中の後遺症が重度でも、いつもニコニコしながら色々な方と楽しそうにお話されていました。いつの間にか、老健で知り合った方と男同士ですが、アパートの隣同士で住むようになりました。食事を一緒にしたり、お話をしたり、部屋を行き来したりしていました。お互いの不自由な所を補っていました。また、近所に住む女性が、食事を作っては持ってきてくれるようになりました。いつもその方達の周りには、笑い声が響いており、とても楽しそうに見えました。お二人とも障害は重度でしたが、そんなことをまったく感じさせない生活をしていました。

まずは、自分の存在を認めてもらうには、自分から周りとの関係づくりに努め、「おはようございます」や「こんにちは」といった挨拶をしっかりとします。できる限り笑顔で接したほうがいいでしょう。こうして築いた関係から、自分のことを語れる関係性を作り、食事を一緒にするなどして、なるべく一緒に過ごす時間を作れるようになるといいでしょう。そうするとここで取り上げた孤立死はあなたの周りでは起きないと思います。ぜひ、今から明るく大きな声で挨拶していきましょう。



小規模まこと ほのぼの日記

「一日、一笑」を目標にまことに来ると毎日がレクリエーション活動のように楽しんでいただけるよう試行錯誤で頑張っています。



行事レク



今日は『貝合わせ』というゲームをしました。手作りの貝殻の裏に当事業所の職員の写真が貼っており、合わせていくものです。皆さん『あ〜〇〇さんだ』と職員の名前を覚えており楽しまれておりました。

ひなまつり



『貝合わせゲーム』が終わった後は、ひなまつりにちなんで職員手作りの甘酒とひなあられをおやつとしていただきました。美味しいと声が沢山あり、おかわりをしてご利用者様がおり嬉しかったです。

工作レク①



この日は工作レクで梅の花を作りました。丸く切った色々な柄の折り紙5枚を合わせ一つの花にしていく作業で、「難しいね〜上手く出さないわ」と話されながらも一生懸命取り組んでいました。

工作レク②



こちらは続きの一枚です。皆さんそれぞれ作った梅の花を大きな木に貼って花を咲かせました。作品をみて「いや〜綺麗だね」と春を感じていました。

外出レク①



今日は、皆さんで『細岡展望台』に行ってきました。展望台の手前にある休憩施設で色々な展示物を見てきました。「タンチョウの子もってこんなに大きいんだね」と驚かれておりました。

外出レク②



細岡展望台の続きです。休憩施設から200メートル登っていくと展望台があり、運動もかねて登りました。霧がかかっており奥まではっきり見えませんが、「秋になったら紅葉が綺麗だからいきたいね」と楽しまれておりました。

西崎の奮闘記

雪もすっかり解け、春の陽気が気持ちいい季節となりました。

そろそろ外出しやすい時期で、3月には早速「細岡展望台」にご利用者様達が行かれました。久しぶりの長めのドライブということと、外出しやすい当時の気候も重なり、皆様も笑顔で楽しまれている様子でした。一方で、外出されていないご利用者様は、夕食前まで施設内でカラオケを楽しまれており、有意義にすごされておられました。

QOLの向上を目指すため、常にアクティビティを求められる当小規模多機能では、機能訓練の一環として身体運動を取り入れつつ、自宅での生活を想定した日常生活の訓練など個々のご利用者様に対して取り入れております。月々に企画される外出や調理、工作などのレクリエーションもその一環であり、外出であれば車の移乗から移動の訓練を行い、調理や工作などは実際に刃物を取り扱うこともございます。無論、介護職員達の事前の打合せによるご利用者様の配置や細心の注意による見守り下で実施されております。ご利用者様も「何かをやり抜く」という姿勢で挑まれており、結果として上記の「まこと通信ほのぼの日記」のような素敵な表情と笑顔を見せられているのだろうと感じている次第であり、同時に職員のモチベーションアップにも繋がっているのだろうと思うこの頃であります。

小規模やよい ほのぼの日記

喜びや楽しみはもちろん悲しみも共有しながら、それぞれの個性を大切に生活を送っていただけるように、安心・安全をモットーにサービスの提供に努めます。



菱寿司作り



ひなまつりのレクリエーションで菱寿司作りをしました。牛乳パックの型をひし形にして酢飯、好きな具材を交互に入れて美味しく作っていました。「美味しそうだねえ。早く食べたいなあ」と笑顔で楽しそうでした。

ひな祭り ~いざ! 実食!!~



午前中自分達で作った菱寿司を、昼食でいただきました。普段は少食の方も、この日はモリモリ沢山召し上がっていました。皆さん「美味しねえ〜」とニコニコ顔でした。

朝食作り



職員が朝食を作り苦戦していると、早起きされたご利用者様が「何か手伝うかい?」と声をかけてくださり、お言葉に甘えて手伝っていただきました。さすが主婦! 手際よくあっという間に朝食が完成しました。ありがとうございます。

デザインはまかせて!!



「次のレクリエーションで作る作品のデザインどうしよう」と職員から利用者様へ相談したところ「紙と鉛筆貸してごらん」と仰り、渡したら、なんと! デザインのアイデアをわかりやすく絵で描いてくれました。

焼き桜餅作り



焼き桜餅作りをしました。最初皆さん「桜餅なのに焼くの?」といった感じでしたが、いざお菓子作りが始まると楽しそうにされて、最後は「美味しかったねえ〜」と満面の笑顔でした。

誕生日カード作り



いつもは職員だけで仕上げてしまうのですが、今回は写真を切り抜くお手伝いをして頂きました。とても丁寧に切り抜いてくれました。この誕生日カードを受けとるご利用者様の反応が楽しみです。

勝水の奮闘記

今年の釧路は雪が少なく、過ごしやすかったです。4月と言えば、新入学、新社会人等ありますが、小規模多機能型居宅介護やよいにも、3名の新人職員が入社いたしました。他法人での経験者もおりますが、ここでは新人です。覚えることが沢山あると思いますが、焦らず、ゆとりと安全・安心をモットーに一緒にやっていきたいと思っております。ご利用者様からは「宜しくね」と声を掛けて頂き、安心して様子も見られていました。ご家族の皆様も、温かく見守っていただければと思います。

上の写真にもありますが、朝食を作りながら、コール対応をしていると、「忙しそうだね。何か手伝うかい。」と言って下さり、直ぐにお手伝いをお願いしました。エプロンをし、三角巾を着け、手を洗い、手袋を履かれ「何かからするの?」と。まずは、お味噌汁の味見をして頂くと、「これじゃ、薄いわ。もう少し、お味噌を入れて」と、お味噌を足しもう一度味見をして頂くと「いいね」とOKができました。「次は、何するの。昔、やってたから出来るよ」と心強いお言葉に感謝しつつ、副食の味付け、盛り付けをお願いしたところ、「分かったよ。この(器)数に分ければいいんだよ。あんたは、そっちしなさい」と、指示も出して下さり、私は只、はい、ありがとうございますと、もう1品にとりかかり、お手伝いをして頂いたお陰で、あっという間に朝食の準備が終わりました。その際、ご利用者様は実に生き生きと、手際よく、笑顔があり、楽しそうでした。今まで、ご利用者様にお願いをしていた事は、野菜の皮むき等その時だけで終わってしまうものばかりで、その皮をむいた野菜がどんな料理になるのかも、きちんと伝えることなく、お手伝いをして頂いていたように思います。今回、お手伝いを頂いて、出来ることはやって頂くという事の大切さを改めて感じる事ができました。これからは、他のご利用者様にも、どんどんお手伝いを頂きたいと思っております。

3月18日には、小規模多機能型居宅介護やよいも、4周年を迎え、昼食に「生チラシ寿司」を頂き、皆でお祝いをさせていただきました。4周年を迎えられたのも、一重に皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

グループホームまこと ほのぼの日記

☆天気の良い日は外に出掛けよう! 家の中でも、何か楽しい事はないかな? 事前に計画した行事は少ないのですが、思い立ったが吉日!



桃の節句



3月3日、桃の節句のお祝いにケーキを頂きました。年を重ねてもいつまでも桃の節句は女性の為にありますね。でも、花より団子? 甘いおやつには皆さん目がないんです!

餃子作り



久しぶりの餃子作り。皆さんにも餃子の皮に餡を包んでもらい、ホットプレートで焼いていただきました。餃子の餡を包むのが上手な事、上手な事。流石に慣れた手つきで上手く焼き、とてもおいしく頂きました。

カルタ



ボランティアの方と、ことわざカルタをしました。皆さん真剣な表情で、様子が伝わってきますね。「どこにあったかな」「さっき見たな〜」と話しながら、「あったー」と言っても先に取ったり取られたり。

いも団子作り



おやつにいも団子を作りました。今月はなんか食べ物ばかりのような気が... (笑) 一人で3、4個も食べられる方もいたようで、見事に夕飯は食べられませんでした。

お彼岸には



「お彼岸だからぼた餅が食べたいね〜」との声に、さっそく応えて、皆で作りました。作っている時は笑顔で食べる時はもって笑顔で... 一応彼岸なのでご先祖さまも忘れなさい。

開設記念日



3月19日はグループホームまことの開設記念日でした。一年間の思い出写真のスライドショーを見ました。行事は覚えていなくても「あー私が出てる」と、とてもいい笑顔です。またこの1年も楽しい思い出を作ってください!

柴田の奮闘記

すっかり雪も消え、少しずつ春めいた季節になり、ふきのとうや福寿草が咲き始めています。ホームの中でもそろそろ、外に出たい願望が強くなり、そわそわする季節になってきました。冬の間に温存した体力を、爆発させる季節の到来です。

今月は手始めに【春の大運動会〜1F・2F対抗戦 春の乱〜】で、身体を馴染ませます。昨年春・秋の運動会とは1Fの勝利で幕を下ろしています。今回は負けられないと2Fのご利用者様たちも、日々気合の入った体操に励んでいます。そして、5月には4日間にわたり、【花見会】を予定しています。今年は仕出し弁当を卒業し、手作り弁当を持って、今年度初、屋外での食事を楽しみたいと思います。一応、本命の桜も愛でる予定です。その他にも、5月には【母の日】も控えており、レクリエーションやイベント盛り沢山で楽しみたいと思います。この他にも思いつき調理レク(突発的な開催が多い)や普段の生活でも、洗濯物干しや洗濯物たたみ、拭き掃除や調理など、いろんな場面で皆さんも日々活躍しています。平均年齢88.5歳。まだまだ皆さんお元気です。さあ、今年も忘れてしまうけど、その時その時を楽しんで過ごしましょう。

グループホームやよい ほのぼの日記

馴染みの物に囲まれた、くつろぎのある暮らしの中で、その人らしい生活をして頂きたいと願っております。「共に考え、共に学び、共に生きる。」を目標に職員一人一人が笑顔があふれた暮らしの提供を心がけたいと思います。



ひな祭り



3月3日はひな祭りということで皆様で福笑いといひな祭りの歌を歌いました。皆さま生まれ、最後はみんなで記念撮影しました。

開設記念



3月15日はGHやよいの開設記念ということで、皆様でお祝いのご馳走を召しあげました。「おいしいね」と食べられていました。

日本舞踊①



開設記念のご馳走を召し上がった後は、日本舞踊を皆様で鑑賞しました。途中楽しく手拍子されながら鑑賞されていました。

日本舞踊②



鑑賞された後は、お礼の品をご利用者からプレゼント致しました。とても喜んでいただきよかったです。

ひ孫さん



ご家族様がひ孫様を連れて来て下さいました。慣れた様子でひ孫様を抱かかえられ、笑顔で「かわいいね」とお話しされていました。

皆さんで



ひ孫様を抱いて一緒に笑顔で、はいチーズ。優しい笑顔で職員共々笑顔になりました。これからもその笑顔でよろしくをお願いします。

石黒の奮闘記

釧路も3月から4月にかけて暖かい日が続いていましたが先日、雪が降っていました。ご利用者は濡れている駐車場を見て「雨が降っていたんだわ。」と勘違いされていました。施設内と外では寒暖の差があり、まだ外出は難しいですが、隣の小規模やよいへお伺いし、運動器具を使用したり一緒にカルタを行ったりと活動範囲を広げています。身体機能は年々低下してきていますが、今年は去年より多くの外出を取り入れていきたいと考えています。GHやよいは今年で6年目に突入しており、今一度、グループホームでのご利用者様の役割の再確認として、調理や洗濯などごく一部のご利用者様で行っているのが現状です。他のご利用者様の役割は？と聞くと疑問がでます。出来ることあるのに、目を瞑っている【ご利用者様の自立した生活】が出来なくなっています。結果、職員が全て行うことになり、ますます忙しくなるのは当たり前です。そうではなく、まずはやってみてどこまでできるのかが大切です。出来ないところは援助すればいいだけの話です。業務の流れもご利用者様に合わせて柔軟に変えるなど対応が必要になってきます。始めから【できません】ではなく【どうすればできる】かがポイントになってきます。それには職員一人一人の意識が変わらなければなりません。管理者やリーダーが率先して啓発し職員の見本となる様、行動範囲を広げるべきです。大変さはよくわかります。日々、ご利用者様の対応に追われどう言葉をかければ本人は理解してくれるのか、どう介助すれば本人も職員も負担が少なくなるのか、どうすれば頻りに立ち上がるご利用者様が落ち着くのか。同じ話をするご利用者様にどう言葉をかけたらいのか。よく行動を観察し言葉を聞き本人が求めているものを提供しなければ同じことを繰り返すだけなのに解決にはなりません。色々試し、新しい経験を積極的に受け入れ、前向きに物事を捉える。次々に試し失敗してもいいのです。挑戦しない、なにもしない、現況維持では何も解決にはならないのです。自分にも当てはまる事があり、反省しながら前向きに頑張っていきたいと思えます。

小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム ほのぼの日記

「我が家スタイル」の緑ヶ岡ホームの日常です。今月も笑顔の絶えない利用者様との触れ合いを綴って参ります。いつまでも「本物のお客様第一主義」を念頭に、職員一人ひとりが心配りをママに行い、心から愛情をもって利用者様に接して参ります。



二人揃って



3月は桃の節句。お内裏様とお雛様♪二人ならんで～ハイ！ポーズ！冠や着物はご利用者様と作りしました。お似合いです。

ミニバスケット



可愛いミニバスケット。男性でも上手に出来ているでしょう？お持ち帰りで、奥様にプレゼント！きっと、喜んでくれると思いますよ。

3月お誕生日会



「キョトン～！」と、しているご利用者様。何時もと違うお誕生日会で、びっくりしているようです。お誕生日おめでとうございます。

パースデイカード



3月のパースデイカードです。職員から、ご利用者様一人一人にメッセージを添えてプレゼント。これからも元気に通って下さいね。

桜の壁画



やっと雪も解け、春に少し近づいて来ていますね。いち早く、桜の花を咲かせている緑ヶ岡デイですが、本物の桜の花が待ち遠しいですね。

ハートのバラ飾り



今年のシルバー作品展に向けて、今から全力投球中です。ハートの型紙にフェルトで作ったバラを一つ一つオーガンジーに丁寧に包んでとっても可愛く出来ています。

川村の奮闘記

3月の初日に強風と湿った重い雪が降り、景色は白一色の世界となり乾いていた路面は悪路となりました。あれから1ヶ月が経ち冷え込みも緩み雪解けが進んだ南斜面には、蔭の臺や福寿草が顔を出しています。窓から差し込む、麗らかな春光に春の到来を感じる今日この頃ですが、皆様は如何お過ごしでしょうか。先日ご町内会の工藤ご夫妻が、「春だね！（奥様）」「春だ！春だな～。（ご主人）」笑顔でお声を掛けて下さいました。ご利用者様も春の訪れを心待ちにされている様子で「暖かくなってきたね。」と来所時に挨拶をされていらっしゃいます。さて、緑ヶ岡ホームでは、恒例の「四季の花」をテーマに作品作りに取り組んでいます。4月は、ピンクを基調とした「桜の張り絵」が先日完成しました。ホームのリビングに鮮やかなピンクの桜がたくさん咲きました。また、「パステルカラーのお花の壁飾り」や「フェルトの巻き薔薇・ハートの飾り」「タンポポのリース」を制作中です。どの作品も指先を使う細かい作業になりますが、皆さん根気良く一つ一つの工程を丁寧にこなしています。また、今月は魚釣りゲームのイベントを企画しています。雪解けが進んだ、緑ヶ岡湖では何が釣れるのでしょうか？今から「ワクワクドキドキ」ですね。来月の「四季の花」は、チューリップとあやめ・紫陽花を作る予定です。その他、紙工作・壁面飾りのこいのぼりとミニこいのぼり作りも企画しています。ミニこいのぼりは、お家の玄関やボード内に飾れるサイズを考えています。皆さんが楽しく作品作りに取り組む事が出来るように、また作業が単調なものにならないよう企画にも工夫が必要と思っています。私の思う作品作りは、個々の能力(できる事)を最大限に引き出し、自己選択により自己表現が出来る事が大切との思いで企画構成をしています。これからも、職員一丸となり取り組んでいきたいと思えます。

小さなデイサービス大町 ほのぼの日記

『利用者様と心をかよわせ、共に生活を支えあう』を、モットーにスタッフ一同、日々頑張っております。



素敵な笑顔①



職員とお話している最中、写真を撮ろうとカメラを向けると、とても素敵な笑顔を見ました。本当に素敵な笑顔です。何度見てもとても心がほっこりする一枚となりました。

素敵な笑顔②



何気ない日常で、ご利用者様の名前を呼びながらカメラと一緒に向けると満面の笑顔。とても幸せな気持ちになりました。これからも素敵な笑顔が大町デイへ届けてください。

風船バレー大会



3月12日に風船バレーを行いました。最初は1個だった風船も2個、3個と増えとても盛り上がりました。声も掛け合い、笑い声が絶えない時間となりました。またやりましょうね。

小物入れ



色々な模様の布を花びらの形に切り、縫い合わせて完成～。簡単そうに見えて意外と難しかったですが可愛く素敵にでき上がりました。

百マス計算



午後からいつも百マス計算を一生懸命行うご利用者様。迷うことなくスラスラと問題を解いていき、あっという間に全問解き終えてしまいます。真剣な姿は本当に素敵ですね。

菜の花畑



菜の花畑の壁画作り。模造紙をテーブルに広げ、ちぎった折り紙をみんなで貼っている様子です。黙々と作業し、いつも真剣に取り組むご利用者様ばかりです。

堤の奮闘記

4月を迎え、少しずつ気温が暖かくなり、雪解けが進むと同時にふきのとうや福寿草が顔を出し、釧路にも春の訪れが感じられる時季となり、ご利用者様の服装も冬物から春物へと薄手の装いになって、ご利用者様が笑顔で元気に来所される姿やご利用者様同士仲良く楽しく過ごしていただいている姿がうれしく思う日々。そんな中、ご利用者様から「桜、またドライブがてら見に行こうね」とお話がございました。もちろん行きます。今年は何のあたりを見に皆様を連れて行こうか迷っているところです。そして、今年は、桜だけではなくチューリップも見にお出かけしたいと思っておりますので楽しみにしててくださいね。また、5月に入ると豪華客船が入港するとの事ですので散歩がてら皆様と一緒に見に行きたいと思っております。また、4月16日月曜日には、日本舞踊の方々が来所され曲に合わせて踊りを4～5曲ほど披露していただける予定となっておりますのでこちらもぜひ楽しみにしててください。

そして、3月の風船バレー大会は風船の数を徐々に増やし歌が終わるまで落とさないようにご利用者様同士「そっちに行った～」等声を掛け合いながら楽しく1時間程行いました。終わるころには皆様へとへとだったところでしょうか。ご利用者様からは「楽しかったよ」とお話を伺うことが出来ました。また、4月の室内競技大会ですが今月は18日に椅子に座ってサッカー大会を開催しようと思っております。様子につきましては次回をお楽しみに。

まこと保育園 ほのぼの日記

安心安全な保育を提供し、保護者とともに歩みます。
家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの個性を大切に育てていきます。



すずらん組



1歳児クラスのお友達、みんな2歳になりました。少し残った雪山にみんなで登って遊んでいます。この冬は、つなぎを着てたくさん公園であそびましたよ。

園外保育



3月の園外保育は、MOO多目的広場にかけました！保育園にはない大きな遊具がいっぱいあって、みんな大喜びです。2歳を過ぎると、危ない事に平気でチャレンジしていく子ども達です。

いっぱいひろったよ！



すみれ組は、遠矢の公園で小さな松ぼっくりを大量に発見！ママや保育園のお友達に見せようと夢中で拾う子ども達でした。

ピカピカパトロール



H29年度最後のピカピカパトロール！雪が解けて冬の間に捨てられたゴミがこんなにたくさん出てきました！地域の方々のおかげで頑張ってすみれ組でした。

シール集め



女の子が少ないまこと保育園。この日は、ひな祭りで「シール集め」のゲームをみんなで楽しみました。ガラスに貼ったビニールテープを一生懸命手を伸ばして取ろうとしているところです。

赤ちゃんかわいいね



3月に1ヶ月だけの入園になった3ヶ月の赤ちゃんを「可愛い」と「いい子いい子」してくれているのは、4月から1歳児クラスになるお兄さんです。

種市の奮闘記

入園したての頃には、ミルクを飲んでいたりハイハイしていた子ども達が、スプーンを片手に手づかみで食事をしたり保育士と追いかけてくるまでになるのですから・・・子どもの1年ってすごいですね。でも一番の成長は、保育士の声しか聞こえなかった歌や手遊びに、子ども達の大きな声加わったことではないかと思っています。4月2日に新入園児3名(0歳児2名・1歳児1名)と保護者を迎えて行われた第2回入園式には在園児の大きな声が響き渡りました。何を言っているかあいまいですが、音と調子は合っています。(笑) 0歳児2名・1歳児10名・2歳児3名・4歳児1名、計16名でまこと保育園の2年目がスタートいたしました。5月には0歳児1名が入園予定です。

さて、3月は年度替わりと言うこともあり、大変慌ただしく過ぎていきました。3月の在籍園児は一時17名となり、忙しい中で認可園や幼稚園へ転園する子ども達のお別れ会やプレゼントの準備をし、夜は新年度に向けてより良い方法を模索しての話し合いや資料作りに職員は大忙しでした。1年を振り返るとたくさん失敗もしてきたけれど、誰一人この仕事を投げ出さず少しでも良い方向へと努力してきた1年だったと感じています。まだまだ胸を張るには程遠いけれど、新年度も一歩でも自分たちの理想に近づけるように努力していきたいと思っています。保育士も4月1日付けで1名増え、パートを含め10名となりました。新年度も職員一丸となって頑張りますのでよろしくお願い致します。

キャリアアップ支援研修

『ケアノート』～ありがとうという言葉に涙した事がありますか？～

3月17日(土)釧路プリンスホテルにて、タレントの荒木由美子さんをお招きし、義母の介護生活について講演していただきました。

最初に、株式会社リハビリサポートまこと 代表取締役 作業療法士の山田勝雄氏から認知症についてのお話をいただきました。

その後荒木由美子さんが登壇し、結婚後にアルツハイマー病にかかってしまった義母の介護を20年間してきたお話を前向きにお話され、20年間の介護をやり続け義母から最後にいただいた「ありがとう」という感謝の言葉に涙し、介護生活をやり遂げることができて本当に良かったと語られました。

不安や辛いこともあったと、時折涙もみせていましたが、そのような時は同じ経験をしている方に吐き出したりすることも大事とお話しされ、会場では涙ながらにお話を聞く方も見られました。最後に自身の持ち歌を披露されました。

来場者の方からは、「荒木様を始め、本日来場された皆様とともに笑ったり泣いたり楽しく時間を過ごさせていただいたことに感謝しております。今年の1月に父が亡くなり、母親と私の二人になり淋しく過ごしていましたが、今日をきっかけに前を向き、ポジティブに生活していこうと思います。」「ありがとう」という言葉を大切にしていきたいと思っています。ありがとうございます。」「非常に感動しました。歌も聞けて嬉しかったです。とても前向きな考えや夫婦で寄り添えたこと。そして最後のお母様からのありがとうで、心が救われたと思います。介護をされている方に大切な力になったと思います。本当にありがとうございます。」等の意見を頂きました。



キャリアアップ支援研修に参加して

小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム 入江

荒木さんのお話を聞いて、とても感動しました。結婚されて間もなく、考えてもいなかった介護をする生活が始まり、大変だったと思います。認知症というものというのがどういふものなのかわからないまま、ましてや、若くて何もわからず。色々な体験を聞いて、よく頑張っていたと感心しました。一生懸命なところ、思いやりの心が伝わってきました。その後の施設への入所。揺れる気持ちもわかりました。そして、最後の時の「ありがとう」で初めて報われた苦労だったと感動で涙があふれました。一人では大変な事。廻りの方が応援や支援も必要で、それがなくては心も体もついていけないと教えて頂きました。私も少しずつでも介護の勉強をして、ご利用者様・ご家族様に何が出来るか考えたいと思います。

まことクイズ



～今月の問題～

この写真の景色が見える場所の名前は何か？

1. 夢ヶ丘展望台
2. コッタロ湿原展望台
3. サルボ展望台



～先月の問題～

この写真の建物の名前は何か？

1. タンチョウ観察センター
2. 釧路市阿寒町ツルセンター
3. 釧路市丹頂自然公園

答えは3番の釧路市丹頂自然公園でした。

職員紹介



菊地

(大町事務所 業務員)
29年3月13日入社

職場が変わり、経験が無いため、手探りしながら仕事をさせていたでいます。各施設にも伺いますので、よろしく願いたします。



小林

(まこと保育園 保育士)
1月1日入社

保育士の方だけでなく、私に関わるすべての人に助けられています。本当に感謝しております。早く一人前と見られるように頑張ります。

ケアプランセンターまことからのお知らせ



4月になり本州ではお花見シーズンのお話も出ていましたが、釧路はまだ雪が降ったり、寒かったりと春は遠いようです。体調をくずしやすい時期ですので、手洗い・うがいなどをきちんとして体調管理に努めましょう。この4月から介護保険法の改正により、皆様のもとにもいろいろな情報が届いていると思います。しかし、難しい言葉が並んでいて、どういうことなのかわからない、今までつかえていたサービスの何が変わったのか等、疑問点も多くなっていると思います。介護保険に関してわからないことや、ご質問など様々なご相談をお受けしております。元気なケアマネジャー6名が対応させていただきますので、まずはお気軽にご相談ください。

ケアプランセンターまこと 管理者 高橋
TEL 0154-68-5531 FAX 0154-68-5399

大判タオル・タオル等のご寄贈を！

リハビリサポートまことの各施設では、多くの大判タオルやタオル等を必要としています。ご家庭で使用されていないタオルやシーツ等。また、ご使用済みのシーツやシャツ等がございましたら、多少にかかわらずご寄付いただけないでしょうか。ご連絡いただきましたら取りに伺います。ご協力の程よろしくお願いいたします。



連絡先 大町事務所
TEL0154-44-7733 FAX 0154-44-7734(担当松下)

現在の空き状況

4月6日現在

施設名	空き人数	備考	お問い合わせ先 Ⅰ	担当者
小規模多機能型居宅介護まこと	3名		0154-41-3633	西崎
アシストリビングホームまこと	1名		0154-41-3633	西崎
グループホームまこと	1名		0154-41-8355	柴田
グループホームやよい	0名		0154-42-2078	石黒
小規模多機能型居宅介護やよい	3名		0154-64-5210	勝水
アシストリビングホームやよい	0名		0154-64-5210	勝水
小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム	空き有り		0154-46-4890	川村
小さなデイサービス大町	空き有り		0154-42-8377	堤

随時ご相談に応じておりますので、
どんな事でもお気軽にご連絡ください。



ま ころこめて こ の住み慣れた場所で と もに築きます

発行: 株式会社リハビリサポートまこと
住所: 釧路市大町5丁目2番21号

電話: 0154-44-7733 発行責任者: 代表 山田 勝雄